

■ 札幌ふるさとの樹木 ■

その 20：キタコブシ（北拳）・モクレン科

北方に生えるこぶし。

こぶしはつぼみが人のこぶしに似ていることから。北海道、中部以北の適度に湿った日当たりの良い場所に生育する。花期は 4 月。花色は帯紅色。花序は頂生。葉は互生。樹皮は灰色。

材は柔らかく、マッチ軸、床柱に利用される。アイヌの人々はこの木をふだん「いい香りを出す木（オマウクシニ）」と呼んでいた。

伝染病が流行しているときには病魔も香りに惹かれてやってくるおそれがあると考え、「放屁（オナラ）をする木（オプケニ）」とわざと名前を変えて呼んだそうである。

ふだんはこの木の皮や枝を煎じてお茶のように盛んに飲んだという（北大植物園だより）。



※なお、「札幌ふるさとの樹木」シリーズ樹木はこの 20 選で終了します。

